

(事務連絡)

令和4年8月

各位

京都市産業観光局
クリエイティブ産業振興室
(担当：尾池 電話：222-3337)

各種事業に関する御協力のお願い

平素は、本市の伝統産業振興施策に御理解・御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本市で実施しております各種事業につきまして皆さまに御案内申し上げるとともに、それぞれの事業について更なる充実を図るべく、ぜひとも多くの方々にお力添えをいただきたいことがございます。

つきましては、以下の内容を御確認いただき、各事業への協力につきまして、前向きに御検討いただけますと幸いです。御不明な点などについては、お気軽にお問い合わせください。よろしく願いいたします。

各種のお問い合わせやお申込みについては、クリエイティブ産業振興室の尾池までお願いいたします。執務室不在の時間が多いうえに、中には先着順の案件もございますので、可能な限りメールでの御連絡・お問い合わせに御協力をお願いいたします。

メール：oiqbd034@city.kyoto.lg.jp 電話：075-222-3337 FAX：075-222-3331

今回、御協力をお願いする案件は、以下の4件です。

- ① 西陣呼称555年記念事業「きものでNight Craft Museum」展示作品の募集
- ② 大丸京都店「京ものコーナー」へのポップアップ出展者の募集
- ③ 京都少年鑑別所に在所している少年に対する伝統産業体験を実施していただける事業者募集
- ④ 「インターゲートホテルズ開業5周年記念伝統文化展」展示作品の募集

上記全てに共通する事項は、以下のとおりです。

- ・ お申込みいただいた方全てを対象とするわけではなく、各カウンターパートとの協議のうえ、御協力いただく事業者等を決定いたしますので、あらかじめ御了承ください。
 - ・ 上記①と④につきましては、イベント開催日程が明確なため、開催日一週間前程度を目安として予告なく募集を締め切らせていただきます。
- 上記②と③につきましては、一定数必要な事業者数等が集まり次第、予告なく募集を締め切ることがありますので、あらかじめ御了承ください。

1 西陣呼称555年記念事業「きものでNight Craft Museum」展示作品の募集

【組合・団体単位及び事業者・個人単位でのお願い】

＜参考資料：別紙1-1 申込書：別紙1-2＞

京都市では、本年が西陣呼称555周年であることを契機として、より多くの方に、京都を代表する伝統産業の一つである西陣織をはじめとする和装の魅力を知っていただくとともに、西陣地域の魅力向上・発信を目的として、西陣織工業組合と連携のうえ、「西陣呼称555年記念事業」を実施し、年間を通じて、多彩な事業を展開しています。

この度、本事業の一環として、9月の「重陽の節句」に合わせた和装着用機会創出のため、「きものでNight Craft Museum」を開催いたします。

イベント詳細は【別紙1-1】チラシのとおりであり、今回は「**夜・暗闇でこそ魅力が引き立つ工芸品**」を展示することで、普段とは違った工芸品の魅力を発信すること、また、「**重陽の節句**」に合わせた企画として、日本で古来より受け継がれてきた節句文化を感じていただくことを目的としており、これらの目的に合った工芸品の展示に御協力いただける方を募集しております。

概要は、以下のとおりです。

○次の2つのテーマに合う工芸品を展示したいと考えております。

「夜・暗闇でこそ魅力が引き立つ工芸品」

(例) 月夜に映える漆器、和蝋燭の光で普段とは違った表情を見せる仏具や表具、それ自体が暗闇を照らす提灯やぼんぼり、ライト等、荘厳な雰囲気合う薫香、などなど…

「重陽の節句」をテーマとした工芸品」

(例) 菊柄・菊紋様のきもの、陶磁器、その他工芸品など…

○本件の借用に関しては、原則無償での貸出に御協力をお願いいたします。

和の空間・夜の時間を充実させる工芸品として、多くの方に御自身の商品等をPRする場になればと願っております。

○借用及び返却について、9/1～8の間でお借りし、お返すするのは早くとも9/12以降となります。

○展示台等はこちらで用意します。また、お借りする展示品の品名、キャプション、販売価格、つくり手プロフィールなども、【別紙1-2】申込書に記載の内容を基にこちらで用意し、展示品と併せて展示します。

なお、御協力いただいた方や商品に関する各種書類は、併せて展示時に配架することができますので、商品をお借りする際にお預かりいたします。(名刺やショップカード、カタログ等)

○本イベントの招待券をお渡しいたします。

○本イベント全体で保険に加入しておりますので、イベント時の破損等につきましては、補償の対象となります。

展示品の貸出に御協力いただける方は、【別紙1-2】Night Craft Museum 展示品申込書に必要事項を御記入のうえ、メール (oiqbd034@city.kyoto.lg.jp) にて、クリエイティブ産業振興室の尾池まで送付いただきますようお願いいたします。

2 大丸京都店「京ものコーナー」へのポップアップ出展者の募集

【事業者・個人単位でのお願い】 <参考資料：なし 申込書：別紙2>

京都市では、令和3年3月から大丸京都店と連携し、年間を通じて「京もの」の魅力を発信する拠点として、大丸京都店4階リビング売場に、常設の京もの専門売場“京ものコーナー”を設置し、様々な「京もの」の販売を通して、魅力を発信しています。

毎回、本市と大丸京都店との協議や、各組合等からの御紹介などによって事業者を約1ヵ月単位で入れ替えて販売を行ってききましたが、1ヵ月単位であるとしてもお客さんへの訴求が弱くなってしまうことや、原則委託販売でありながら、可能な限り“つくり手”の皆さまに売り場に来ていただき、御自身の商品の魅力を直接お客さんに伝えてもらうほうが、より魅力的な売り場にできるという観点から、今後は「**原則2週間単位で事業者を入替え**」ながら、可能な限り「**売り場に立っていただける事業者さんの商品を展開する**」ことにより、消費者の生の声を御自身のものづくりに活かしていただくことができるよう、工夫していきたくと考えています。

そういった経過から、この度、この“京ものコーナー”を活かして、「ぜひ、自分の商品を販売したい!」という熱意のある事業者を募集いたします。細かい条件等は担当者等からの別途の案内と大丸京都店との商談によって決定いたしますが、以下の条件に当てはまる人を「**優先的かつ先着順**」にて枠を押さえさせていただきます、順次決定していきますので、御応募をお待ちしております。

条件1：以下のスケジュールに催事販売可能な方。

- ①令和4年9月14日（水）～9月27日（火）
- ②令和4年10月19日（水）～11月8日（火）
- ③令和4年11月23日（水）以降、2週間単位で。

①・②を優先的に探しています。

（正式な日程は決定次第、追って連絡いたしますが、遅くとも2カ月前にはお声がけいたします。）

条件2：期間中、基本的には毎日売り場に立って販売いただける方。

（営業時間中ずっとというわけではなく、ピークタイム（お昼前後）や土日など、人の往来が多くなる時期に売り場に立っていただけると、統計的に良く売れているので、その趣旨です。また、**実演等をしてくださる方は、さらに優先とさせていただきます。**）

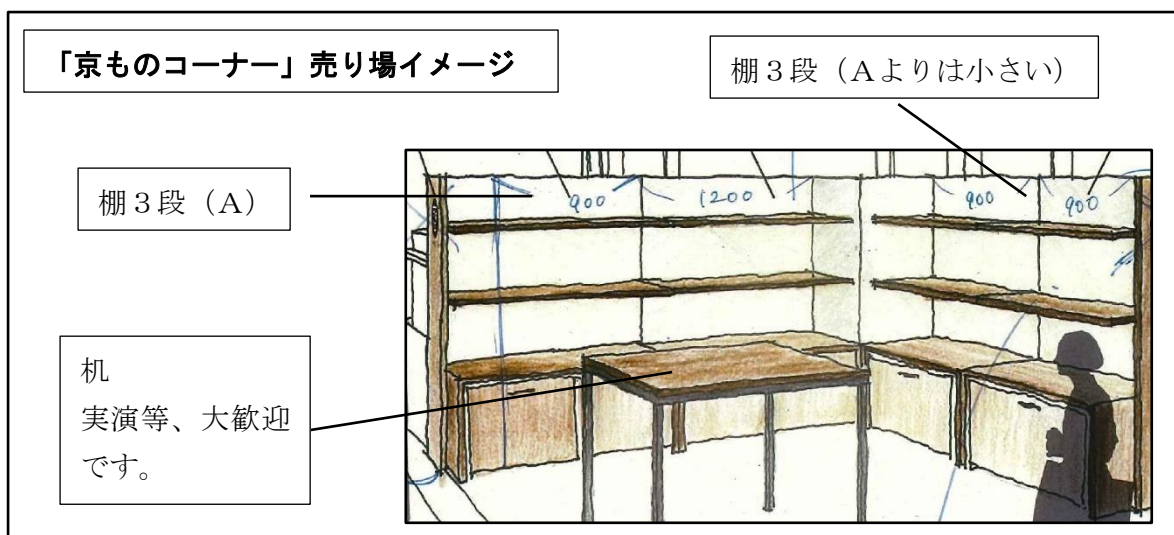
条件3：大丸京都店4階「リビングコーナー」に並べるに適した商品をお持ちの方。

リビング雑貨売り場であることを考慮した商品にしてください。食品や服、明らかな高額品などは取扱いができませんので、御注意ください。

（御応募いただいた際の内容を大丸京都店に共有し、取扱いできないとなる場合もありますので、御了承ください。）

条件4：少なくとも、売り場（概要は以下参照）をある程度埋められるだけの商品数、バリエーションをお持ちの方。

なお、一人で厳しい場合でも、グループ（例えば2人で同期間に販売）での出展を検討できる場合があるので、積極的にエントリーしてください。ただし、直近半年以内の売り場展開においては、単独で売り場を埋められる方を優先させていただきます。



本件、御応募いただける方は、【別紙2】大丸・京ものコーナー出展申込書に必要事項を御記入のうえ、メール (oiqbd034@city.kyoto.lg.jp) にて、クリエイティブ産業振興室の尾池まで送付いただきますようお願いいたします。

3 京都少年鑑別所に在所している少年に対する伝統産業体験を実施していただける事業者募集

【組合・団体単位及び事業者・個人単位でのお願い】

＜参考資料:別紙3 申込書:なし(お申込みやお問い合わせ等は、メール本文に直接御記入のうえ、御連絡をお願いいたします。)＞

京都市では、令和3年3月に「京都市再犯防止推進計画」を策定し、再犯防止に係る取組を総合的かつ計画的に推進しており、本計画において重点推進施策に位置付けている「京都の文化力をいかした矯正施設入所者等に対する更生意欲等の喚起」に係る取組として、京都少年鑑別所に在所している少年に対して、令和3年7月から、京都の伝統産業品の製作体験を実施しているところです。

(詳細は、別紙3「令和3年7月13日付本市広報資料」を御覧ください。)

これまでから有限会社中村ローソクの御協力の下、「和蠟燭の絵付け体験」を数回にわたり実施してきましたが、事業の充実を図る観点から、より多くの伝統工芸に触れる機会を創出したいと考えております。

京都ならではの社会的意義のある取組ではありながら、製作体験の実施に当たっては、特殊な状況下での体験実施となることから、使用できる道具や材料等に一定の制限があるなど、細かい条件のすり合わせが必要となります。そのため、もし実施を御検討いただける事業者等がいらっしゃいましたら、詳細について当室から御説明申し上げたいと、施設見学や施設担当者との打合せ等の機会もセッティングさせていただきたいと考えております。

ぜひとも、前向きに御検討いただきまして、少しでも実施を御検討いただける場合には、メール (oiqbd034@city.kyoto.lg.jp) にて、クリエイティブ産業振興室の尾池まで御連絡いただきますようお願いいたします。

4 「インターゲートホテルズ開業5周年記念伝統文化展」展示作品の募集

【組合・団体単位及び事業者・個人単位でのお願い】

<参考資料：なし 申込書：別紙4>

「地域の価値で、未来を変えていく」というブランドステートメントを具現化するべく2018年3月に京都で開業されたホテルブランド「インターゲートホテルズ」を運営する「株式会社グランビスタ ホテル&リゾート」と本市は、これまでから、同社が運営するホテル等を舞台として、京都の伝統産業の普及に係る取組を連携して進めてきました。

来年2023年には同ホテルの開業5周年を迎えることから、開業の地・京都の魅力の訴求及び京都への観光意欲喚起を目的として、同社が運営する「札幌グランドホテル」内のギャラリースペースにて、京都の伝統産業品の展示会を実施したいという依頼がありました。

今回は、「さっぽろ雪まつり」の開催後の札幌での展示会となることから、「春の訪れ」をテーマとした展示会を実施いたします。京都の伝統産業の魅力を、遠く札幌の地で発信したいと考えておりますので、これらの目的に合った工芸品の展示に御協力いただける方を募集しております。

概要は、以下のとおりです。

○展示会概要

価値体験型ホテル インターゲートホテルズ開業5周年記念伝統文化展

京都の伝統工芸「春の訪れ」（仮題）

日 程：令和5年2月19日（日）～3月26日（日） 11：00～19：00

（設営は、前日（2月18日（土））に行う予定です。）

場 所：札幌グランドホテル内「GRANVISTA GALLERY sapporo」

内 容：インターゲートホテルズ5周年を記念し、京都の伝統工芸の展示会を実施。

その他：2月19日（日）には、展示会のオープニングセレモニー・トークイベントが開催されます。

なお、京都の伝統工芸がメインの展示会となりますが、同ホテルがある東京・大阪・金沢・広島などの伝統工芸品も会場の一部で展示される予定です。

○次のテーマに合う工芸品を展示したいと考えております。

「春の訪れ」

（例）春を感じることができる図案のきもの・帯や各工芸品、春が待ち遠しくなるうつわなど
リビング雑貨、春を感じることができる薫香、などなど…

（例）新生活に使用できるアイテム（新社会人を応援するネクタイ、卒業式などハレの場を
彩るきもの姿、春の贈答品に適したアイテム、などなど…）

○展示会場において、商品の販売はできません。

御協力いただける事業者等には、可能な限りオンライン販売サイトや御自身のショッピングカードなどを展示品と一緒に置いていただく等により、来場者の購入に繋がる仕組みづくりを検討していきたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。

○本件の借用に関しては、原則無償での貸出に御協力をお願いいたします。

○京都⇄札幌間の輸送費用などは、事業者等で負担いただく必要はございません。

- 借用及び返却のスケジュールについて、2月上旬にお借りし、お返しするのは4月上旬頃と想定しております。
- 展示台等はこちらで用意します。また、お借りする展示品の品名、キャプション、販売価格、つくり手プロフィールなども用意し、展示品と併せて展示します。
なお、御協力いただいた方や商品に関する各種書類は、併せて展示時に配架することができますので、商品をお借りする際にお預かりいたします。(名刺やショップカード、カタログ等)
- 本イベント全体で保険に加入する予定であり、輸送時及び展示会の準備や展示期間等における破損等につきましては、補償の対象といたします。

展示品の貸出に御協力いただける方は、【別紙4】札幌展示会「春の訪れ」展示品申込書に必要事項を御記入のうえ、メール (oiqbd034@city.kyoto.lg.jp) にて、クリエイティブ産業振興室の尾池まで送付いただきますようお願いいたします。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

皆さまの御協力をよろしくお願いいたします。